



平成26年度 教育TRYの更なる徹底に向けた

菅尾小学校のアクションプラン



【豊後大野市立菅尾小学校】

I 教育目標

ふるさとを愛し、心と体を鍛え、知を研く子どもの育成

II 重点目標

- 基礎基本の定着
- 豊かな心の育成
- 基礎体力の向上
- ふるさと学習の推進

学力の向上

☆ 重点目標

- 基礎基本の定着

☆ 達成できたかどうかの指標

- 国語・算数単元末テストの学級平均正答率を80%以上にする。

☆ 重点的に取り組む内容

- ① 児童一人一人の特性に応じた課題を与えるなど、指導方法を工夫して、「勉強がわかる」と回答する子の割合を90%以上にする。
- ② 読書活動の工夫・充実を図り、低学年は平均読書数120冊、高学年は7000ページ達成に向けた取組を図る。
- ③ 「家庭学習をめやすの時間いっぱいがんばる」と回答する子の割合が90%以上になるように、家庭学習の習慣化を図る。

☆ 取組状況に関する指標

- 週2回の朝スキルタイムと放課後キラキラタイムを個に応じた補充学習の時間として取り組む。
- 学期ごとに読書冊数・ページの個人目標を立てさせ、月・火・木の朝読書の時間の15分間と家庭読書によって、達成をめざす。
- 家庭学習強化週間を学期に1回ずつ設定して、定着率を高める。

体力の向上

☆ 重点目標

- 基礎体力の向上

☆ 達成できたかどうかの指標

- 「運動をすることが好き」と回答する子の割合を80%以上にする。

☆ 重点的に取り組む内容

- ① サーキットトレーニングを体育授業に取り入れた時間の割合を90%以上にする。
- ② 「天気の良い日は、外で遊んでいる」と回答する児童を80%以上にする。
- ③ 徒歩通学運動を推奨し、「徒歩通学ができる児童」の割合を100%にする。

☆ 取組状況に関する指標

- 毎時間体育授業に5分間のサーキットトレーニングを取り入れる。
- 昼休み週3回以上の外遊びをするよう呼びかけ、運動習慣の定着を図る。
- 徒歩通学強化週間を学期に1回ずつ設定して、定着率を高める。

生徒指導等

☆ 重点目標

- 豊かな心の育成

☆ 達成できたかどうかの指標

- 「学校へ来ることが楽しい」と回答する子の割合を100%にする。

☆ 重点的に取り組む内容

- ① あいさつ運動の意義と基本形の指導を行い、「進んであいさつをすることができる」と回答する子の割合を90%以上にする。
- ② 気持ちのよい言葉づかいについて、全校で共通の指導をおこなう、「思いやりのある言葉を使っている」と回答する子の割合を90%以上にする。
- ③ 異学年集団（なかよし班）で、協力して活動する場を意図的に設け、「なかよし班活動が楽しい」と回答する子の割合を90%以上にする。

☆ 取組状況に関する指標

- あいさつ強化週間を学期に1回ずつ設定して、定着率を高める。
- 学期1回の「言葉について考える集会」や帰りの会で「いいところみつけ」をおこなうなど、人を傷つける言葉をつかわない集団を作る。
- 学期1回のなかよし集会と週に1回のなかよし班そうじの時間を設定し、力を合わせて活動する機会を設ける。

ふるさと学習

☆ 重点目標

- ふるさと学習の推進

☆ 達成できたかどうかの指標

- 「ふるさと学習（菅尾小学校版）」のカリキュラムを整備する。

☆ 重点的に取り組む内容

- ① 教育課程に位置づけられた「ふるさと学習」を、生活科や総合的な学習の時間を中心に実践し、さらによいものへと改善をしていく。
- ② 「ふるさと学習」にあたっては、体験活動を取り入れたりゲストティーチャーを積極的に活用したりする。
- ③ 「ジオパーク」に係る知識を深めるための職員研修の充実を図る。

☆ 取組状況に関する指標

- 教育課程に位置づけられた通りに実践し、改善すべき点は、後でわかるように教育課程に朱で書き込むようにする。
- 全学年において、学期1回は現地見学かゲストティーチャーを招いての学習を実践する。
- 校内研修の時間、職員を対象に学期1回現地見学かジオガイドを招いてのジオパーク研修を実施する。